

尿検査業務における検体誤廃棄についてのお詫びとご報告

この度、当協会があわら市教育委員会様より受託し実施した学校尿検査業務において、当協会の不手際により尿検体の一部を検査実施前に誤って廃棄するという事案が発生いたしました。

対象となられた児童様ならびに保護者の皆様、関係する皆様に、多大なるご迷惑とご心配をお掛け致しました事を、心より深くお詫び申し上げます。

記

1. 事案の概要

令和8年4月20日、学校尿検査業務の過程で尿検体56名分が廃棄物に混在し、誤って廃棄されていた事が判明致しました。尚、当廃棄物は外部に流出することなく然るべき手順にて廃棄されたことが確認されており、個人情報の漏洩はございません。

2. 発生の原因

- (1) 未検査検体の保管場所と、検査実施の過程で発生する廃棄物の集積場所が隣接しており未検査検体と廃棄物が混同しやすい作業環境となっていました。
- (2) 検査実施前後の確認体制が適切に機能しておらず、作業管理体制が不十分でした。

3. 発生後の対応

あわら市教育委員会様、学校様のご指導の下、対象となられた児童様及び保護者様にお詫びするとともに、尿検査の再提出をお願いいたしました。その後、皆様にご協力いただき56名全員の検査を終了させて頂きました。

また監督官庁に報告を行うとともに、指導・助言を踏まえながら対応及び再発防止に取り組んでおります。

4. 再発防止対策

- (1) 作業環境を見直し、未検査検体の管理及び廃棄物の廃棄方法を改善致しました。
- (2) 作業管理体制を見直し、各検査工程での確認を徹底し管理体制の強化を図りました。
- (3) 再発防止を目的とした検体管理手順及び個人情報保護に関する再教育を実施するとともに、定期的に内部・外部監査を実施し、手順の順守状況、管理状況の点検を実施して参ります。

以上

当協会では、今回の事態を厳粛に受け止め、再発防止と検体管理体制の強化に全力で取り組んで参ります。

令和8年5月18日

公益財団法人 福井県予防医学協会